

第3回テーマ部会の進め方について

- 第3回テーマ部会は、以下の流れで開催し、テーマ部会としての今年度の成果のとりまとめを行います。

時 間	内 容	進め方
開会 30 分前 ～	集 合	・ 来場された方から自由に着席します
① 午前 10 時 ② 午後 2 時 ③ 午後 5 時	開 会	
5分	区挨拶	・ 区挨拶
10分	前回の振り返りと 本日の目的、懇談の進め方	・ 総合進行がPPTを基に、これまでの検討のおさらい懇談の進め方を説明します。
25分	懇談1：取組み内容の確認 (参加者全員で意見交換)	・ 第2回部会の懇談2で出された意見整理(参考資料-1)を基に、以下の内容について参加者全員で意見交換し、確認します。 ⇒取組みの方向性の文言や取組み内容のタイトルは適正か、取組み内容に過不足はないかなど
60分	懇談2：部会としての整理 (参加者全員で意見交換)	・ 引き続き参加者全員で、懇談1で確認した整理内容を踏まえ、取組み内容の重複確認とともに、参考資料-2の「参加者の思い」について意見交換を行い、文章化・整理します。 ⇒取組み内容に重複はないか、参考資料-2の文案が適切か、記述すべき事項はないか など
5分	整理内容のとりまとめ(事務局)	・ 懇談2の間に懇談1を踏まえ、参考資料-2の取組みの方向性と内容を修正。 ・ 懇談2を踏まえ、参考資料-2の取組みの思いの文章を修正。
10分	部会としての整理内容の確認	・ 各班で修正した整理内容(参考資料-2)を前面に写し、総合進行が読み上げ、成果を確認・共有します。
5分	今後の予定説明	・ 今後の予定について区から説明
計 120分	閉 会 (①正午、②午後4時、③午後7時)	

『参考資料-1』について

- 同封しております「参考資料-1」は、第2回テーマ部会において、各班で意見交換し整理しました内容を踏まえ、取組みの視点と取組み内容との整合を勘案し整理したものです（参考資料-1の次頁の当日整理写真と比較ください）。
- 参考資料-1は、懇談1で意見交換し確認します資料となりますので、当日までに、参加されたテーマ班の整理内容をご確認いただきご参加ください。

○第2回テーマ部会での意見交換内容や整理された取組み内容を踏まえ、取組みの視点と取組み内容との整合を勘案した取組みの視点のタイトル及び取組み内容です。

○当日は、懇談1で、取組みの視点・内容のタイトル、取組みの過不足について意見交換を行い、確認・共有します。

当日の懇談の 進行内容・視点・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回の振り返りと合わせて、取組みの視点を再整理した。各取組みの視点に対し、『必要なものは何か?』、『どのように行うか?』、『どこでやるか?』の順に検討を進めた。ばらばらにある個人・個人、商店街をつなぐ新たな取組みが必要であることが確認された。また、そのためには、住民や商店街、行政による横断組織を立ち上げること、定期的に話し合いが可能なスペースの確保が必要なことも挙げられた。 		参考資料-1
まちづくり 目標 人の集まる場づくり 【旗揚げしたテーマ】	取組みの視点(方向性)	【テーマの実現に向けた取組み】	①誰もが参加できる『話し合いの場』づくり ・高架下の空き店舗を活用して、月1回でもよいので話し合いやワークショップを行う ⇒区が公用というかたちで借りることができればなおよい。 ・地元住民、商業関係者、行政による、協議組織を立ち上げる ・JRの高架下の空き店舗 ⇒「西武みなみ」のような貸しスペース
		(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり	②誰もが気軽に使える『活動の場』づくり ・既存の制度活用(空き店舗活用など)により、活動資金を確保 ・知らせ板の活用 ⇒駅にあるマガジンラックと合わせて ・駅なか
		(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり	①参加する人(住んでいる人、企業する人)が楽しめるイベントづくり ・各商店街の取組みが少なかった ・外部の人に参加してもらおう ⇒市側で企画は西武の住民が行い、お店を出す人は地区外の人とするなど ・外からのアイデアを集める ⇒商店街サポーターなどの制度構築 ・132号整備後の伏見通り ⇒バスルートが変更になるのでは?という想定から ・24の商店街をつなぐルート上でいろいろなイベント等を展開
			②各商店街が事業継承されるための仕組み作りが必要 ・各商店街の取組みが必要
			③(例)協議会の設置 ・132号線に関して検討を行う協議会組織が立ち上げられようとしている。区として協議会を認めてほしい

『参考資料-2』について

- 同封しております「参考資料-2」は、第2回テーマ部会において、各班で出された意見を踏まえ、取組み内容が出された際の参加者の思いを文章化したものです。
- 参考資料-2の参加者の思いは、まちづくり方針における取組み内容の内容説明文となるもので、懇談1を踏まえながら、懇談2で意見交換し文案ですので、当日までに、参加されたテーマ班の各取組み内容の文案をご確認いただきご参加ください。

○当日は、懇談2で、懇談1で整理した取組み内容を踏まえながら、整理した各取組み内容の文章化について意見交換を行い、整理・共有します。

○文章化にあたっては、「何のために」「何を」「どこで」「どのように」行うのかを念頭に置いて意見交換を進めます。

付加価値を生むまちづくり部会の整理

参考資料-2

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	参加者の思い(案)
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり ①誰もが参加できる「話し合いの場づくり」 ②誰もが気軽に使える「活動の場づくり」	地区の活性化に向け、それぞれの活動等を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる「話し合いの場・活動の場」づくりを進めます。
		(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり ①参加する人が楽しめるイベントづくり ②各商店が事業継承される仕組みづくりが必要 ※(例)協議会の開催	個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々(外部からのサポーターも含む)を中心とした駅周辺の活力の維持・向上に向けた取組みを進めます。
		(1)人とのつながりによる体制づくり ①参加しやすいコミュニティづくり ②商店街や町会の絆を継承したつながりづくり ③地区外とのつながりづくり	町会や商店街、東京女子大学との連携など、人のつながりによる体制づくりを行います。
	イベントづくり	(2)情報発信・共有によるつながりづくり ①参加者とのつながりづくり ②支援者とのつながりづくり	インターネットやSNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。
		(3)西荻らしいイベントの実施 ①入りやすいイベント ②小規模なイベント ③音楽×食×酒	イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの観点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。
		(1)個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり ①地域の情報発信 ②起業や空店舗の活用 ③空き店舗活用しやすい仕組みづくり	個人店が多い西荻産の強みを活かし、各店舗における地域の情報やイベントの発信に取り組みとともに、空き店舗バンクなどによる空き店舗活用しやすい仕組みづくりにより、店舗助成や起業支援、案内・情報発信機能としての空き店舗活用を推進します。
	西荻産の魅力を活かしたまちづくり	(2)若者のやる気を引き出すまちづくり ①(例)仕組みづくり ②(例)仕事スペースの活用	若者のやる気を西荻産の魅力につなげるため、若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくりとともに、若者が活動しやすい場の創出のため仕事スペース等の活用を推進します。
		(3)特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり ①西荻のいっしょな文化を活かす ②子育て・教育環境	西荻の小洒落た文化のPR、子育て・教育環境の充実を図り、成熟した街を形成します。
		(1)まちの話、発信したい情報収集 ①人の興味を引きつける内容 ②魅力的な内容がないと続かない	商店街や幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、大学、区役所との定期的な情報交換や情報募箱等を設置するなど、発信したい情報を集める仕組みをつくります。
	情報発信のプラットフォーム	(2)まちなかでの情報発信拠点づくり ①情報発信していることを知ってもらう必要がある	店先空間等を利用して情報発信の拠点(掲示板、まち案内所等)をつくります。
		(3)情報発信の継続的な取組み促進 ①人の確保 ②場所の確保 ③システムづくり	「西荻案内所」「西荻産ノート」「ふれま」などを実践されてきた方々の経験を活かした勉強会を開催や情報発信に取り組むスタッフの確保、収入を得る仕組みを検討します。

参考資料－1：第2回テーマ部会での意見整理

『安心・安全なまちづくり部会』

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

【旗揚げしたテーマ】
交通安全対策

取組みの視点(方向性)	取組み内容 (取組み内容を.....としている)
(1) 歩行者中心のまちづくり	<p>①路線バスの運行の適正化</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>路線バスの運行の適正化</u>・<u>路線バスの小型化</u> <p>②歩行者を優先した道路づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>バリアフリー（道路の段差の解消）の推進</u>・<u>路上へのあふれ出しの抑制（危ないあふれ出し）</u> <p>③歩行者を優先した交通ルール</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>速度制限の適正化</u>
(2) 駐輪・駐車対策	<p>①駐輪対策</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>小売店の駐輪ルール等の商店街での規則の策定</u> <p>②駐車対策</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>搬入時の路上駐車対策</u>
交通マナー・ルール ⇒(3)交通マナー・ルールの向上	<p>①交通ルール・マナー</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>自転車のスピードに対する対策</u>・<u>自転車保険など車両としての自覚・認識の醸成</u> <p>②交通ルール・マナー教育</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>交通マナーを許攸するための機会の活性化</u>・<u>交通マナーを教える場づくり（学校、幼稚園等）</u>

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

交通
安全
対策

取組みの視点(方向性)

取組み内容

駐輪
駐車文様

小売店の駐輪の
ルール
↓
商店街での
規則の策定

西乙連の
路上駐車

交通マ
ルール

自転車の
スピードに
対する対策

交通
ルール

自転車
保険

交通
マナーを
子どもに
伝える機会
の提供

学校・幼稚園
(大人も含めて)
マナーを教える場

歩行者
中心の
まちづくり

路線バス
運行の
適性化

路線バスの
小型化

歩行者を
優先した
道路の整備

バリアフリー
(道路の緩急
の解消)
の推進

路上の
おみせ出し
おみせ出し

速度制限の
適性化

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

【旗揚げしたテーマ】
防犯

取組みの視点(方向性)	取組み内容 (取組み内容を.....としている)
(1) 犯罪が起きないまちづくり	①犯罪が起きない・犯罪の心配がないまちづくり ・ <u>地域のコミュニケーション（近所の目）</u> ・ <u>顔を合わせられる場づくり</u> ・
(2) 抑止力の向上と治安の維持	①抑止力の向上 ・ <u>地域パトロールの実施</u> ・ <u>防犯カメラの増設</u> ②治安の維持 ・ <u>地域と迷惑施設・団体との付き合い方</u> <div data-bbox="1291 1549 2754 1837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>タイトルはOKか？</p><p>取組みは、もう少し具体的に（問題点と、考えうる対策）を検討してほしい。</p><p>取組みは、不足事項は無いかな？</p></div>

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

取組みの視点(方向性)

取組み内容

犯罪が
おきない
まちづくり

誰も含めて
わかる場
が必要

＜近所の目＞

抑止
力

防犯カメラ
増設

ポトロ-ル
(規)
ている。

治安

宗教施設

ヤクザが
増えている...

防

犯

当日の懇談の
進行内容・視点・ポイント

自動車、自転車ともにスピードを出しすぎている場所の確認と対応策を検討した(132の整備区間についても課題として挙げられた)。その後、防災的な視点で問題となっている事項(道路を閉塞する恐れのあるブロック塀)やそれらに対する方策について協議した。

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

交通安全対策・防災

【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
(1)狭い道路を安全に通 行できるようにした い←スピードの抑制 (自動車、自転車)の 工夫 ⇒歩行者中心のまちづ くりの推進	①スピードの抑制(自動車、自転車)の工夫 ・人通りの多い時間帯や商店街の交通規制 ・広域的な交通対策(抜け道対策) ・道路整備される交差点での意識啓発(看板等設置) ②道路のつくり方の工夫 ・ハンプ(イメージハンプ) ・シケイン、狭窄など
(2)歩行者を含めた交通 マナーの周知 ⇒交通マナー向上	①自転車運転のマナー教室 ・ ②交通安全のパンフレット配布 ・
(3)道路空間の確保	①自動車、自転車の走行空間の確保 ・道路にはみ出している看板等の規制強化 ・電線類地中化による電柱撤去 ・中央線高架下の環境改善 ②『(仮)道路の排水対策』 ・道路側溝の清掃(雨天時も通行容易に)

安心・安全なまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	参加者の思い（案）
<p>安心・安全なまちづくり</p>	<p>交通安全対策</p>	<p>(1)歩行者中心のまちづくりの推進 ①路線バスの運行の適正化 ②歩行者を優先した交通ルール ③スピードの抑制の工夫 ④道路の作り方の工夫・歩行者を優先した道路づくり</p>	<p>車両や自転車のスピード抑制（ハンプ(イメージハンプ)、シケイン、狭さくなど）、歩道等でのバリアフリー化、路上障害物対策の強化による歩行空間の確保など歩行者中心のまちづくりを推進します。</p>
		<p>(2)道路空間の確保 ①自動車、自転車の走行空間の確保 ②道路の排水対策</p>	<p>歩行者が安全に通行できるための道路空間や災害時の活動に必要な道路空間を確保に向けた取組みを促進します。</p>
		<p>(3)駐輪・駐車対策 ①駐輪対策 ②駐車対策</p>	<p>歩行者の安全性向上の観点から、商店街での駐輪ルールの規制や荷捌きスペースの確保に取り組みます。</p>
		<p>(4)交通マナー・ルールの向上 ①交通ルール・マナー対策 ②交通ルール・自転車運転マナー教育 ③交通安全パンフレット配布</p>	<p>歩行者の安全性向上の観点から、自転車の速度の抑制対策、自転車利用者の運転マナー向上や交通安全に関する意識啓発に取り組みます。</p>
	<p>地域での防犯対策の促進</p>	<p>(1)犯罪が起きないまちづくり ①犯罪が起きない、心配がないまちづくり</p>	<p>地域住民が顔を合わせる機会を増やし、住民同士で顔の見える地域づくりを促進し、防犯力を高めます。</p>
		<p>(2)抑止力の向上と治安の維持 ①抑止力の向上 ②治安の維持</p>	<p>抑止力となる地域パトロールの実施や防犯カメラの増設等により、地域の治安を維持します。</p>
	<p>防災性の強化</p>	<p>(1)ブロック塀の倒壊防止 ① ②</p>	<p>倒壊の危険性のあるブロック塀の撤去を推進するとともに、設置の防止を促進します。</p>
		<p>(2)危険個所の点検、マップづくり ① ②</p>	<p>地域において災害時に危険性のある個所の点検を行い、地域の防災マップを作成します。</p>
		<p>(3)街中への災害対応型ベンチ(カマド、トイレなど)の導入 ① ②</p>	<p>駅周辺の広場や歩道に災害対応型のベンチの導入を促進します。</p>